

令和 6 年度第 1 回青梅市美術館運営委員会会議録

日 時

令和 6 年 4 月 3 0 日（火） 午後 2 時 0 0 分～4 時 0 0 分

会 場

美術館研修室

出席者

（委 員）

橋本委員長、濱岡委員、白井委員、牧野委員

（事務局）

橋本教育長、森田生涯学習部長、北村文化課長、田島美術担当主幹、塚本美術館管理係長、村上主任、河瀬主事

欠席者

（委 員）

佐川副委員長、塩野委員、持田委員

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 教育長あいさつ

4 委員長あいさつ

5 報告事項

（1）令和 5 年度事業結果について（資料 1）

事務局から説明

〈了承〉

（2）アンケート結果について（資料 2）

事務局から説明

〈了承〉

（3）令和 6 年 2 月定例議会（一般質問）について（資料 3）

事務局から説明

〈了承〉

（4）空調等設備改修工事について（資料 4）

事務局から説明

〈了承〉

（5）全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」事業への参加について（資料 5）

事務局から説明

〈了承〉

（6）その他

6 協議事項

青梅市立美術館の運営に関する方針（案）について（資料 6）

事務局から説明

〈意見聴取〉

7 その他

8 閉 会

〔主な質疑・応答・意見（報告事項・協議事項について）〕

○令和 5 年度事業結果とアンケート結果について

（委員）ガラス破損により展覧会の会期途中で休館になってしまったのが残念だった。

（委員）展覧会の度に学校の子供達にチラシやポスターで宣伝している。学校側でも何かお手伝いしたいと思う。

（委員）作品の修復は毎年定額的な予算があるのか。

（事務局）定額的な予算はない。修復すべき作品を発掘し、次年度以降の展示や緊急性の高いものに優先順位をつけて行っている。

（委員）アンケートを見ると、初めて来館した人や何度も来館している人の数字が高く出ている。コアなファン層を休館中につなぐ取り組みをぜひ行ってほしい。

（委員）美術館のファンに向けて休館中の情報をこまめに発信するのが良いと思う。

（委員）手書きのアンケート以外にウェブ上でアンケートを行うことはしないか。

（事務局）市の様々な事業に対して少しずつ DX 化の推進に取り組んでいる。再オープンの際には美術館でも行えるよう検討したい。

（委員）展覧会を周知する方法について、再オープンする 3 年後には社会のニーズも変化しているのではないか。情報発信の手段についても検討を行うべき。

（委員）様々なデジタルコンテンツから情報を得ることは高齢者層にも浸透しつつある。先を見据えた美術館運営を行うべき。

○令和 6 年 2 月定例議会（一般質問）について

（委員）文化や美術に関する質問が議会で取り上げられることは多いのか。

（事務局）幅広い分野で文化に関する質問はあがるが、美術館について具

体的な質問があったのは久しぶりのことである。

○空調等設備改修工事について

（委員）現在の懸念点はあるか。

（事務局）既存設備の更新であるため、空調機のスペックや照明のレイアウトは基本的には変わらない。

（委員）温暖化も進んでいるため、空調機の温湿度対応の幅を広げなければ先々困るのではないか。来館者へのサービスに直結する部分については良く配慮していただきたい。

○全国美術館収蔵品サーチ「SHUZO」事業への参加について

（委員）メリットはあるのか。

（事務局）国の事業であるためどうなるかは分からない。これを機に美術作品のデータベース化を行いたい。

（委員）全国でどの程度の館が参加しているのか。

（事務局）2023年5月時点で165館、収録件数は16万件である。

（委員）後世に残すためにも作品情報のデータ化はしておいた方が良く、いい機会なのでぜひ活用していただきたい。

○青梅市立美術館の運営に関する方針（案）について

（委員）これまで議論を続けてきた中で、全ての意見を取り入れることは難しいと思うが、少しでも意見が反映されているのが垣間見えて良かった。

（委員）方針案に記載されていることが既に食い違っていることに疑問を感じる。

（委員）美術館をどういう形で運営していくのか、根本的な部分に戻って考え直すべきではないか。

（委員）実施設計は進んでいるのか。

（事務局）設計は昨年から行っており、今年度の予算として概算額を計上している。

（委員）作品の管理を適切な環境で行うことが先ではないか。

（事務局）収蔵環境の整備など、方針案の中で課題となる部分については引き続き協議を行っていく。

（委員）欠席者も多いため、継続審議としたい。

○その他

—質疑・意見等なし—

閉会